常時三名の学生代表を参加させていました。	す。さらに課外体育検討準備委員会をつくり、学生部長と学部代表教官からなる体育委員会に	設される宿泊施設に対する要望事項をとりまとめる「蓼科高原山の家委員会」も組織していま	委員会を組織し、二階建ての武道館建設を要求しました。また蓼科高原気候医学研究所跡に建	一九六八年度には部室設立運動を実施し、武道館関係クラブ、応援団の代表が武道館設立準備	化サークル連盟、名大祭本部実行委員会、自治会とともに学園政策委員会を構成していました。	一九六八年の『濃緑』は、体育会と政治的活動にもふれています。そのころの体育会は、文
----------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------------------------

## 三 七〇年代の体育会

◆体育会と
こ学生スポ
ーツの変化

訂正などの成果をおさめています。しかし七〇年代になると中部地区の私立大学運動部の実力	ティ・ボウラニ峰(六九四〇M)の頂上には到達できなかったものの、現:	一九七二年山岳部は、現役学生」
しかし七〇年代になると中部地区	の頂上には到達できなかったものの	現役学生四名を含む七名の西ネパール遠征隊を派遣しました。ジェ
の私立大学運動部の実力	、現地名の確認、地図の	隊を派遣しました。ジェ



総合体育館とプール(1970年代)(附属図書館医学部分館所蔵)

いっぽうで体育会が主催する各種スポーツ大会◇◆スポーツサークルの萌芽	志向型の学生の増加にあると考えられます。	活動の魅力の相対的減退、②同好会の増加、③脱組織	ンジョイ」という言葉に象徴されるように、①クラブ	動部衰退の理由には、「多様化・個性化の時代」、「エ	には、八八三人と毎年減少しています。このような	で推移していたにもかかわらず、部員数は一九七二	大台を割っています。当時総入学者数が一五〇〇人台	名以上いた運動部員が、一九七一年には一〇〇〇々	が増加してきました。一九六〇年代後半には一五〇〇	に、リーグ戦などにおいて二部リーグに落ちるクラ	ろから体育会運動部に入部する学生が減少するととも	国立大学の運動部の凋落もはじまっています。この	が向上し、伝統的に強豪であった名古屋大学をはじめ
ゴヘの		<i>阮</i> 組 縋	クラブ	、 「 て	うな運	七二年	人台	〇名の		クラブ	とと	このこ	しじめ

•23

24

えられていました。これらの案は現代のスポーツマネジメント顔負けの手法です。	方法が提案されています。またプロのアーティストの興行を実施し、興行収入による財政強化	も考えていました。たとえば、会費の値上げをはじめ、大学側による入会金の完全徴収という	一九七〇年代の体育会は、財政が安定していたわけではありません。体育会では財政強化策	◆体育会財政強化とスポーツマネジメント		を区別する意識も芽生えつつありました。	「会員」を「運動部員」に限定する意識、つまり同好会に所属する学生と運動部所属の学生と	一年頃から、体育会会員で運動部に所属しない学生を「一般学生」として表現するようになり、	理解し、施設・技術・金銭面で援助を与えていくべきであると考えていました。しかし一九七	体育会では、同好会の結成を日常的にスポーツ活動をおこなう学生の増加であると前向きに	れています。	学にも体育会の運動部以外に同種目の同好会(スポーツ系サークル)が誕生するだろうと書か	増えてきたことを示しています。『濃緑』には、早稲田大学の事例がとりあげられ、名古屋大
		法が提案されています。またプロのアーティストの興行を実施し、	法が提案されています。またプロのアーティストの興行を実施し、考えていました。たとえば、会費の値上げをはじめ、大学側によ?	法者一	法者一体	法者一体	法 考 一 体 区	法者一体 区会	法考 右 育 会 年 頃 から、	<ul> <li>法考本体 区会年解し、 がら、 がら、</li> <li>法考えていまする</li> <li>たのの</li> <li>たの</li></ul>	<ul> <li>法 が (本 育 会 町 )</li> <li>法 が (本 育 会 町 )</li> <li>(本 育 会 で )</li> </ul>	· 本 育 会 町 加 す る 音 会 町 加 す る 音 会 町 加 す る 高 会 で け 、 施 歌 古 会 で い ま す 。 の ら 、 、 新 し 、 施 歌 わ ら 、 歌 の ら 、 新 し 、 施 歌 か ら 、 歌 の ら 、 の か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 歌 か ら 、 か の の の い ま す の の の の の の の の の の の の の	<ul> <li>法</li> <li>オ</li> <li>オ</li> <li>キ</li> <li>ホ</li> <li>市</li> <li>会</li> <li>毎</li> <li>年</li> <li>頃</li> <li>か</li> <li>ら</li> <li>、</li> <li>た</li> <li>た</li></ul>
学にも体育会の運動部以外に同種目の同好会(スポーツ系サークル)が誕生するだろうと書かれています。 小で、「会員」を「運動部員」に限定する意識、つまり同好会に所属する学生と運動部所属の学生とで、 でを区別する意識も芽生えつつありました。 や体育会財政強化とスポーツマネジメント 一九七〇年代の体育会は、財政が安定していたわけではありません。体育会では財政強化策 も考えていました。たとえば、会費の値上げをはじめ、大学側による入会金の完全徴収という方法が提案されています。。またプロのアーティストの興行を実施し、興行収入による財政強化策 ちまが提案されています。またプロのアーティストの興行を実施し、興行収入による財政強化策 たではかろうとする案もありました。そのほか企業スポンサーを募集する後援会組織の設立も考	<ul> <li>◆体育会財政強化とスポーツマネジメント</li> <li>◆体育会財政強化とスポーツマネジメント</li> <li>「九七〇年代の体育会は、財政が安定していたわけではありません。体育会では財政強化策</li> <li>「九七〇年代の体育会は、財政が安定していたわけではありません。体育会では財政強化策</li> </ul>	<ul> <li>◆体育会財政強化とスポーツマネジメント</li> <li>一九七〇年代の体育会は、財政が安定していたわけではありません。体育会では財政強化策</li> </ul>	<ul> <li>◆体育会財政強化とスポーツマネジメント</li> <li>◆体育会財政強化とスポーツマネジメント</li> </ul>	学にも体育会の運動部以外に同種目の同好会(スポーツ系サークル)が誕生するだろうと書か がたいます。 「会員」を「運動部員」に限定する意識、つまり同好会に所属する学生と運動部所属の学生と 一年頃から、体育会会員で運動部に所属しない学生を「一般学生」として表現するようになり、 「会員」を「運動部員」に限定する意識、つまり同好会に所属する学生と運動部所属の学生と では、早稲田大学の事例がとりあげられ、名古屋大	を区別する意識も芽生えつつありました。	「会員」を「運動部員」に限定する意識、つまり同好会に所属する学生と運動部所属の学生と一年頃から、体育会会員で運動部に所属しない学生を「一般学生」として表現するようになり、れています。 「会員」を「運動部以外に同種目の同好会(スポーツ系サークル)が誕生するだろうと書か増えてきたことを示しています。『濃緑』には、早稲田大学の事例がとりあげられ、名古屋大	一年頃から、体育会会員で運動部に所属しない学生を「一般学生」として表現するようになり、	いくべきであると考えていました。しかーツ活動をおこなう学生の増加であると(スポーツ系サークル)が誕生するだろは、早稲田大学の事例がとりあげられ、	- ツ活動をおこなう学生の増加であると(スポーツ系サークル)が誕生するだろは、早稲田大学の事例がとりあげられ、	(スポーツ系サークル)が誕生するだろは、早稲田大学の事例がとりあげられ、	(スポーツ系サークル)が誕生するだろは、早稲田大学の事例がとりあげられ、	『濃緑』には、早稲田大学の事例がとりあげられ、	

七〇年代の体育会

実際、一九七三年度には営利事業として、愛知文化講堂で本田路津子と森田公一&トップ
ギャランのコンサートを開催しています。同コンサートには一〇〇〇人あまりの入場者が集ま
り、一〇万円程度の利益を上げています。しかしチケットを体育会が販売することは自己負担
が多く、その割に利益が少なかったようです。現在のようにレジャー志向が高くなかった当時
において音楽会をプロデュースするような文化事業には多くの苦労があったと思われます。
◆体育会と社会の交流
七〇年代のワンダーフォーゲル部では、参加者を広く一般から募る「オープンワンデリング」
を実施していました。これは大学の地域開放という点で画期的な企画です。学外者も含め一〇
○人近くの参加者が、鈴鹿の宇賀渓でのキャンプを楽しんでいます。またヨット講習会も学外
からの参加を受けつけていました。今でも名大祭は本学学生以外に公開されていますが、名大
祭期間中に実施されたマラソン大会には、学生以外の参加もあったようです。
◆大学における課外体育活動の位置づけ
体育会のなかには、部員の会費だけではまかなえない高価な備品を必要とする運動部があり
ます。たとえば馬術部がそれにあたります。一九七一年には、馬術部の馬の飼料代助成の問題

•25

## 26

学側がクラブ活動への援助する根拠となる「課外体育活動」の明確な位置づけがなかったため、とかかわって、馬を備品とするか否かの議論がありました。このとき本部体育委員会では、大
外体育活動の意義を認め、予算措置をとることがない限り、クラブへの公的な助成はできない
としていました。
◆体育会での事件・事故
一九七一年に、馬術部の厩舎と馬七頭を焼失する事故が起きてしまいました。また航空部の
部員が合宿参加の移動中交通事故死する事故もありました。そして事故死した学生の両親が損
害賠償を請求する訴訟を国に対しておこないました。この事故では学生の課外活動に対する大
学の責任が裁判で争われました。また一年後の同じ日である一一月二五日に体育会のクラブハ
ウスが焼失する事故もおこりました。こうしたこともあって、一一月二五日は体育会にとって
不吉な日として『濃緑』に紹介されています。
◆新しい運動部
レジャーも多様化してきた一九七〇年代にはいくつかの新しい運動部が生まれました。その

卓	球	部	昭和24年設立
準 硬	1 式 野 球	部	昭和25年設立
剣	道	部	昭和25年設立
柔	道	部	昭和26年設立
体	操	部	昭和26年設立
女子ノ	、 レーボー	ル部	昭和27年設立
ハン	ドボール	部	昭和28年設立
アイ	スホッケー	- 部	昭和29年設立
バド	ミントン	部	昭和30年設立
航	空	部	昭和30年設立

## 表2 体育会結成以前に設立した運動部 表3 体育会結成以後に設立した運動部

日本       挙法部       昭和32年設立         ライフル射撃部       昭和32年設立         スキ       一部       昭和32年設立         弓       道       部       昭和33年設立         日       動       車       部       昭和34年設立         フンダーフォーゲル部       昭和34年設立       アンダーフォーゲル部       昭和34年設立         フンダーフォーゲル部       昭和35年設立       第         ゴル       フ       部       昭和35年設立         空       手道       部       昭和35年設立         空       手道       第       昭和37年設立         弊       踏       研究会       昭和37年設立         グ       長       団       昭和37年設立         グ       大       第       昭和37年設立         グ       小       ア       部       昭和37年設立         グ       小       究       昭和37年設立       第         グ       小       究       昭和50年設立       1         ケ       レ       ・       昭和51年設立       1         オリエンテーリング部       昭和53年設立       1       1       1         フィギュアスケート       昭和63年設立       1       1       1         マ       ク       マ       マ       1       1         マ       マ		
ス丰ー部昭和32年設立弓道部昭和33年設立白動車部昭和34年設立フンダーフォーゲル部昭和34年設立ゴルフ部昭和35年設立空手道部昭和36年設立応援団昭和37年設立舞踏研 究会昭和37年設立少林寺<孝	日本拳法部	昭和32年設立
弓道部昭和33年設立自動車部昭和34年設立 $7 > y - 7 x - r / v$ 部昭和34年設立ゴ $v$ 7部昭和35年設立空手道部昭和37年設立座長団昭和37年設立輝踏研 究 会昭和37年設立少林寺<拳<法		昭和32年設立
弓道部昭和33年設立自動車部昭和34年設立 $7 > y - 7 x - r / v$ 部昭和34年設立ゴ $v$ 7部昭和35年設立空手道部昭和37年設立座長団昭和37年設立輝踏研 究 会昭和37年設立少林寺<拳<法	スキー部	昭和32年設立
自動車部昭和34年設立フンダーフォーゲル部昭和34年設立ゴル7部昭和35年設立空手道部昭和36年設立応援団昭和37年設立舞踏研<究	弓 道 部	昭和33年設立
ゴ $\nu$ 7部昭和35年設立空手道部昭和36年設立応援団昭和37年設立舞踏研究会昭和37年設立少林寺拳法部昭和43年設立アメリカンフットボール部昭和50年設立女子バスケットボール部昭和51年設立合気道部昭和54年設立ソフトボール部昭和57年設立オリエンテーリング部昭和63年設立ラクロス部アィギュアスケート部昭和63年設立ラクロス部アマ成6年設立平成6年設立ボクング部アチェリー部平成11年設立	自動車部	昭和34年設立
空手道部         昭和36年設立           応援         団         昭和37年設立           舞踏研究会         昭和37年設立           少林寺拳法部         昭和43年設立           アメリカンフットボール部         昭和50年設立           女子バスケットボール部         昭和51年設立           合気道部         昭和57年設立           オリエンテーリング部         昭和59年設立           フィギュアスケート部         昭和63年設立           ラクロス部         平成6年設立           ドライアスロン部         平成6年設立           ボクシング部         平成6年設立           アーチェリー部         平成11年設立	ワンダーフォーゲル部	昭和34年設立
応援団昭和37年設立舞踏研究会昭和37年設立少林寺拳法部昭和43年設立アメリカンフットボール部昭和50年設立女子バスケットボール部昭和51年設立合気道部昭和54年設立ソフトボール部昭和57年設立オリエンテーリング部昭和63年設立フィギュアスケート部昭和63年設立ラク口ス部アイアスロン部平成6年設立ボクシグ部アチェリー部平成11年設立	ゴルフ部	昭和35年設立
舞 踏 研 究 会昭和37年設立少 林 寺 拳 法 部昭和43年設立アメリカンフットボール部昭和50年設立ケメリカンフットボール部昭和51年設立合 気 道 部昭和54年設立ソ フ ト ボール部昭和57年設立オリエンテーリング部昭和63年設立ラ ク ロ ス 部平成6年設立ト ラ イ アスロン部平成6年設立ボ ク シ ン グ 部平成6年設立ア ー チェ リ ー 部平成11年設立	空手道部	昭和36年設立
少林寺拳法部昭和43年設立アメリカンフットボール部昭和50年設立女子バスケットボール部昭和51年設立合気道部昭和54年設立ソフトボール部昭和54年設立オリエンテーリング部昭和63年設立ラクロス部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボクシング部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	応 援 団	昭和37年設立
少林寺拳法部昭和43年設立アメリカンフットボール部昭和50年設立女子バスケットボール部昭和51年設立合気道部昭和54年設立ソフトボール部昭和54年設立オリエンテーリング部昭和63年設立ラクロス部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボクシング部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	舞踏研究会	昭和37年設立
女子バスケットボール部昭和51年設立合気道部昭和54年設立ソフトボール部昭和57年設立オリエンテーリング部昭和63年設立フィギュアスケート部昭和63年設立ラクロス部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボクシング部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立		昭和43年設立
合気道部昭和54年設立ソフトボール部昭和57年設立オリエンテーリング部昭和59年設立フィギュアスケート部昭和63年設立ラクロス部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボクシング部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	アメリカンフットボール部	昭和50年設立
ソフトボール部昭和57年設立オリエンテーリング部昭和59年設立フィギュアスケート部昭和63年設立ラクロス部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボクシング部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	女子バスケットボール部	昭和51年設立
オリエンテーリング部昭和59年設立フィギュアスケート部昭和63年設立ラ ク ロ ス 部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボ ク シ ン グ 部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	合気道部	昭和54年設立
フィギュアスケート部     昭和63年設立       ラ ク ロ ス 部     平成6年設立       トライアスロン部     平成6年設立       ボ ク シ ン グ 部     平成6年設立       アーチェリー部     平成11年設立	ソフトボール部	昭和57年設立
ラ ク ロ ス 部平成6年設立トライアスロン部平成6年設立ボ ク シ ン グ 部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	オリエンテーリング部	昭和59年設立
トライアスロン部平成6年設立ボクシング部平成6年設立アーチェリー部平成11年設立	フィギュアスケート部	昭和63年設立
ボクシング部 平成6年設立 アーチェリー部 平成11年設立	ラクロス部	平成6年設立
アーチェリー部 平成11年設立	トライアスロン部	平成6年設立
	ボクシング部	平成6年設立
軟 式 野 球 部 平成6年準加盟	アーチェリー部	平成11年設立
ł	軟 式 野 球 部	平成6年準加盟

す。	れました。少林寺拳法部には女子部員	参加も進み、応援団バトン部が結成さ	またこの頃には女性のスポーツへの	ク優勝を飾っています。	そして六年目には東海リーグAブロッ	目にはBブロック(二部リーグ)優勝、	ンフットボール同好会は、創部後三年	一九七五年四月に結成されたアメリカ	ユースホステル同好会などがあります。	ボーリング同好会、舞踏研究会、名大	ころ新しく登場してきた運動部には
		ました。少林寺拳法部には女子部	ました。少林寺拳法部には女子部加も進み、応援団バトン部が結成	ました。少林寺拳法部には女子部加も進み、応援団バトン部が結成またこの頃には女性のスポーツへ	ました。少林寺拳法部には女子部加も進み、応援団バトン部が結成またこの頃には女性のスポーツへ優勝を飾っています。	ました。少林寺拳法部には女子部加も進み、応援団バトン部が結成して六年目には東性のスポーツへ	ました。 またの飾年 ブ	ま加ま優しにフットボ した。 の飾年 が	ま 加 ま 優 し に フ 九 も た 勝 て は ッ 七 た 進 の 飾 年 ブ ボ 年	ま加ま優しにフ九丨	ま加ま優しにフ九丨丨